

編集 後記

編集顧問 町田 豊平
編集委員 郡 健二郎

小川 秋實 秋元 成太 村井 勝
藤岡 知昭 大家 基嗣

暑かった夏も終わり、みちのく・盛岡はすっかり秋の雲になっています。小生の夏休みは、昨年同様3泊4日でモンゴル医療奉仕団の活動でした。とはいえ、最終日には大草原を乗馬ならぬ四輪駆動車で奥地に向けて疾走し、蚊の大群に悩まされながらも大河での釣りを楽しみました。戦果は60cm強のバイク（岩魚）でした。今年も目標の1m50cm超級の大魚・イトウ釣りは失敗に終わりました。日本食が恋しくなった奉仕団員の皆様にこの魚を賞味していただくことができ、釣り師としての小生の面目は今年も健在でした。

さて、今月号の総説は和歌山県立医科大学 原 勲先生の「新膀胱造設術の現状と展望」で、泌尿器科における不可欠な課題に関して貴重な示唆に富む内容です。興味深い点は、術後QOLの評価において、回腸導管と非失禁型尿路変向術の間、および回腸利用新膀胱造設術と結腸利用新膀胱造設術の間のいずれにも優劣をつけがたく、どちらの変向術においても比較的良好な一般のQOLが保たれていることです。本来であれば、排尿に特化したQOL評価が必要なわけですが、回腸導管と新膀胱造設術を同時に評価できる質問表がないために、差異のない結果になったものと思われまう。真に回腸導管と非失禁型尿路変向術および各種非失禁型尿路変向術のQOLの違いを評価するためには、新たな排尿機能に関する質問表の開発が必要となります。著者も指摘しているように、今後、真摯な泌尿器科医により、理想的な尿路変向術・新膀胱造設術の改善に関する研究が継続することを望みたいと思

います。

「手術手技：尿失禁に関連した手術」は、「男性尿失禁の手術—人工括約筋埋込み術」を、山梨大学 荒木 勇雄先生らと東北大学 中川晴夫先生らにより概説していただきました。本手術は必ずしも一般的とはいいがたく、小生も限られた経験しか持ち合わせていませんが、装置・回路の構造を理解したうえで、清潔操作に留意すれば決して難しい手術・術式ではなく、手術成績も良好であるとする著者らの記述に同感です。

「セミナー：ここまできたトランスレーショナルリサーチ」は、神戸大学 三宅秀明、藤澤正人両先生による「前立腺癌に対するアンチセンス clusterin 療法」です。非常に興味深い論文で、興奮を禁じえない刺激的な内容です。抗アポトーシス活性を有する遺伝子 clusterin に注目し、その発現制御機構と機能解析により、この遺伝子を標的としたアンチセンスオリゴ療法を開発、抗腫瘍効果に関する膨大な前臨床研究、特許の取得、さらにベンチャー企業を設立し、カナダ NCI などの認可のもと、前立腺癌に対する第一相および第二相試験がすでに終了したことを紹介しています。この研究の流れは、まさにトランスレーショナルリサーチのお手本というべきものです。著者らの研究の成功に心より賞賛を送りたいと思います。

その他、症例報告6編、および画像診断1編であり、いずれも、読者の皆様の興味をそそる力作だと思います。（藤岡知昭）

臨床泌尿器科（第62巻 第11号）（通巻745号）
2008年10月20日発行（毎月1回20日発行）

定価 2,835 円（本体 2,700 円＋税 5%）
2008 年 年ぎめ予約購読料（増刊号を含む 13 冊）
41,360 円（税込・送料サービス）

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5709
(担当：登・中田)
販売部直通 (03) 3817-5659・5660
ファクシミリ (03) 3815-7802

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp
振替口座 東京 00170-9-96693 番
印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan.
・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信（送信可能化権を含む）に関する許諾権は医学書院が保有しています。
・ 医学書院ホームページ（インターネット）は Web <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
・ 「臨床泌尿器科」のページは <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinpi/> です。
・ JCLIS < 日本著作出版権管理システム委託出版物 >
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に日本著作出版権管理システム (03-3817-5670) の許諾を得てください。